

塩の部屋「いやしんす」の商品化支援

田中アドバイザーによる支援

(財)21あおり産業総合支援センターの紹介で同行訪問をきっかけに支援開始

知的財産に関するスキルアップのサポート

- 知的財産権の概要と重要性
- 社員に対する研修

特許権・商標権取得に向けたサポート

- 先行技術調査及び先行調査手法取得の支援
- 出願から取得までの支援
- 中小企業向け支援策の紹介

鈴木建設工業株式会社

海外研修で視察したポーランドの温泉保養施設にある「塩の部屋」を日本で実現したい！

岩塩ブロックではなく、地震に強く、軽く、改築にも対応できる、「塩被覆パネル」を開発し権利化したい！

- 知財知識の習得
- 特許情報の調査
- 権利取得の方法

特許情報活用による成果

開発した技術の特許出願
特願 2007-95780
早期審査制度を利用し登録
特許 4056016 号

ネーミングを考え商標出願
商願 2007-61846

- 知的財産権に対する社内意識の向上
- 新商品開発に対する社内意識の向上

この支援によって開発・販売された商品

商品名 塩の部屋 『いやしんす』

特許を取得した「塩被覆パネル」を天井と壁に貼り、床には塩の結晶を敷き詰めた「塩の部屋」で、気管や皮膚系の疾患を緩和する効果があるとされるポーランドの温泉保養施設を実感してください。

支援先企業の概要

- 会社名 鈴木建設工業株式会社 ■代表取締役 小笠原 貞子
- 住所 青森県三沢市新町 ■設立 1968年 ■資本金 2,000万円
- ホームページ <http://www.suzukikensetsu.co.jp/>

田中 智(青森県知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

2006年の8月に(財)21あおり産業総合支援センターの斉藤コーディネーターから連絡をもらい、一緒に訪問してから支援が始まりました。社長をはじめ社員の方々の技術開発や知的財産権の取得に対しての意欲的な取り組みで、知的財産制度、特許情報の調査・活用および出願から権利取得のノウハウを習得していただきました。



平成20年1月現在

